

平成29年度予算見積調書

課室名：産業廃棄物指導課
 担当名：監視・指導・撤去担当
 内線：3136 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B36	環境産業へのステージアップ事業			一般会計	総務費	環境費	廃棄物対策費	産業廃棄物監視指導費	
事業期間	平成28年度～平成30年度	根拠法令	なし				挑戦項目		
							分野施策	051145 資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進	
1 事業の概要				5 事業説明					
<p>循環型社会の担い手である産業廃棄物処理業界を環境産業へステージアップするため、業界のイメージを一新し時代の潮流をとらえることができる人材の確保・育成を図る。</p> <p>また、将来大量に発生する太陽電池モジュール（太陽光パネル）のリサイクル市場を県内業者が獲得できるよう、リサイクル技術の確立を支援する。</p> <p>(1) 優秀な人材確保のためのイメージアップ事業 1,009千円</p> <p>(2) さんばい「稼ぐ力」増進事業 10,231千円</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 人材確保のためのイメージアップ事業 1,009千円</p> <p>(ア) 環境産業合同入社式</p> <p>(イ) 3S運動宣言事業所登録</p> <p>(ウ) 3S運動優秀事例発表会</p> <p>イ さんばい「稼ぐ力」増進事業 10,231千円</p> <p>(ア) 太陽電池モジュール処理技術の研究・開発</p> <p>(イ) 太陽電池モジュール回収制度の構築</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 3S運動等を推進することにより産廃業界のイメージを一新し、次世代を担う人材を確保する。</p> <p>イ 業界団体による太陽電池モジュールのリサイクル技術の確立に対する県の支援として、業界と県による技術研究会において、リサイクルに関する技術的な助言及び廃棄が見込まれるパネルの成分等の事前調査を行う。</p> <p>また、技術開発後に県内業者がリサイクル処理を開始できるよう、効率的な廃モジュールの回収制度を検討する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 産業廃棄物処理業の人材が確保され、経営基盤が安定し、循環型社会を担う社会インフラが確保される。</p> <p>イ 太陽電池モジュールリサイクルの技術と制度を一体的に開発し埼玉から発信することで、県内業者と県とで全国をリードするとともに、県内業者は新規市場を他県業者に先駆けて獲得することができる。</p>					
2 事業主体及び負担区分									
県10/10									
3 地方財政措置の状況									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		繰入金	県債						
決定額	11,240	10,231						1,009	△19,726
前年額	30,966	15,736	14,000					1,230	